



どうだ、ドラえもん

日本の中堅・中小企業の可能性は、無限だ。私たちはそう信じています。いま、そのチカラをあわせれば、みんながワクワクしたドラえもんの「ひみつ道具」だって、作ることができるはず。富士ゼロックスは、複数の中堅・中小企業が連携してドラえもんのひみつ道具作りに挑戦する「四次元ポケットPROJECT」をスタート。ITソリューションのチカラで支援します。第一弾は、「セルフ将棋」。



四次元ポケット Project

www.fujixerox.co.jp/4d/

PROJECT No.01
セルフ将棋



彼らをつなぎだのは、
富士ゼロックスの
ITソリューション

それは企業をつなぎ、紙と電子を融合し、
ビジネスを加速。情報共有・情報流通を
促進し、新しい働き方を創造します。
中でも今回のプロジェクトに
おいては、ドキュメント共有を
支援するクラウドサービス
Working Folderを中心とした
ソリューションで企業間プロジェクトを
円滑にすすめていきます。



富士ゼロックスのITソリューションが実現する企業間連携

複数企業間での情報共有

プロジェクト資料の共有にクラウドサービスWorking Folderを活用することで、参画メンバーはいつでも最新情報をアクセスすることが可能。閲覧権限のある専用フォルダの活用で、よりセキュアな情報共有を実現します。

クラウド上で の インタラクティブな情報流通

Working Folderとドキュメントハンドリング・ソフトウェアDocuWorksを活用して資料の修正指示や作業進捗の確認を行うことで、プロジェクトの進行をスピーディーに。※DocuWorks ドキュメントストレオプロンと連携

複合機との連携

紙文書を複合機でスキャンし、Working Folderに直接アップロードすることが可能。また、ペーパーレスファクス受信機能を使って直接Working Folderに格納することでペーパーレス化を推進。書類の紛失や確認漏れのリスクを低減します。

モバイルからのアクセス

Working Folderにアップロードされた情報は、外出先のモバイル端末でタイムリーに確認することができます。対応時間のロスが減るなど、円滑なコミュニケーションを後押しします。



コミュニケーションの未来を拓く

FUJI XEROX

